

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成25年3月14日(2013.3.14)

【公表番号】特表2012-516140(P2012-516140A)

【公表日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-028

【出願番号】特願2011-546814(P2011-546814)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	4/00	(2006.01)
C 0 7 K	7/08	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 K	35/76	(2006.01)
A 6 1 K	35/74	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	4/00	
C 0 7 K	7/08	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/00	1 0 1
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 K	35/74	A
C 1 2 N	1/15	

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月25日(2013.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

100nM未満のIC<sub>50</sub>値を有する少なくとも3つの異なるHLA-DR対立遺伝子によりコードされるMHCクラスII分子を結合できるオリゴペプチド配列を含む単離ペプチドであって、オリゴペプチド配列がAX<sub>1</sub>FVAAAX<sub>2</sub>TLX<sub>3</sub>AX<sub>4</sub>A(配列番号1)を含み、

- X<sub>1</sub>がY、H、I、E、N、QおよびKからなる群から選択され；
- X<sub>2</sub>がF、N、YおよびWからなる群から選択され；
- X<sub>3</sub>がHであり；
- X<sub>4</sub>がAであり；

ここで前記オリゴペプチド配列が配列番号3と比較して、改善されたプロテアーゼ耐性および/または免疫原性を示す、単離ポリペプチド。

【請求項2】

前記オリゴペプチドが配列番号2 3、2 9、4 7、5 4、6 6、6 7、6 9および7 2からなる群から選択されたオリゴペプチド中の13個のアミノ酸残基C末端フラグメントと同一のアミノ酸配列を有する、請求項1に記載の単離ポリペプチド。

【請求項3】

前記ポリペプチドがオリゴペプチドに加えて未変性ポリペプチド配列の大部分を含んでいる、請求項1または2に記載の単離ポリペプチド。

【請求項4】

前記未変性ポリペプチド配列がヒトTNF由来のものである、請求項3に記載の単離ポリペプチド。

【請求項5】

前記オリゴペプチドに加えて、少なくとも1つの抗原由来の複数のエピトープを含む、請求項1または2に記載の単離ポリペプチド。

【請求項6】

前記複数のエピトープが、複数のCTLエピトープ、複数のB-細胞エピトープ、複数のTヘルパーリンパ球エピトープ、複数のCTLおよびB細胞エピトープ、複数のCTLおよびTヘルパーリンパ球エピトープ、複数のB細胞およびTヘルパーリンパ球エピトープおよび複数のB細胞、CTLおよびTヘルパーリンパ球エピトープから選択されている、請求項5に記載の単離ポリペプチド。

【請求項7】

前記エピトープが1つの单一抗原タンパク質に由来するものであるか、あるいは同じ種に任意に由来する少なくとも2つの異なる抗原タンパク質に由来するものである、請求項5または6に記載の単離ポリペプチド。

【請求項8】

前記ポリペプチドが100個以下のアミノ酸を有する、請求項1、2および5～7のいずれか一項に記載の単離ポリペプチド。

【請求項9】

前記ポリペプチドが、MHC分子を結合できるオリゴペプチド配列と重複しない第2のオリゴペプチド配列を含む、請求項1または3または5～8に記載の単離ポリペプチド。

【請求項10】

前記第2のオリゴペプチド配列がCTL配列またはB細胞エピトープを含む、請求項9に記載の単離ポリペプチド。

【請求項11】

請求項1～10のいずれか一項に記載のポリペプチドをコードする単離ポリヌクレオチド。

【請求項12】

請求項1～10のいずれか一項に記載のポリペプチドをコードする単離ポリヌクレオチドに対して作動的に連結されたプロモータを含む核酸を含む単離ベクター。

【請求項13】

請求項1～10のいずれか一項に記載のポリペプチドをコードする単離ポリヌクレオチドに対して作動的に連結されたプロモータを含む核酸を含む細胞。

【請求項14】

単離細胞である、請求項13に記載の細胞。

【請求項15】

請求項1～10のいずれか一項に記載のポリペプチドと抗原を含む組成物。

【請求項16】

前記抗原が第2のポリペプチドまたは非タンパク性抗原である、請求項15に記載の組成物。

**【請求項 17】**

前記抗原が炭水化物である、請求項16に記載の組成物。

**【請求項 18】**

さらに生理学的に許容される賦形剤を含む医薬組成物の形態における、請求項 15 ~ 17 のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項 19】**

医薬として用いられる、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載のポリペプチド、請求項 11 に記載のポリヌクレオチド、請求項 12 に記載のベクター、請求項 13 または 14 に記載の細胞、あるいは請求項 15 ~ 18 のいずれ 1 項に記載の組成物。

**【請求項 20】**

免疫応答を刺激する方法に用いられる、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載のポリペプチド、請求項 11 に記載のポリヌクレオチド、請求項 12 に記載のベクター、請求項 13 または 14 に記載の細胞、または請求項 15 ~ 18 のいずれ 1 項に記載の組成物であつて、該方法が、動物に対して有効量の前記ポリペプチドまたはポリヌクレオチド、あるいは非病原性ウイルスまたは微生物を投与するステップを含み、ここで該ウイルスまたは微生物は請求項 11 に記載のポリヌクレオチドが形質転換されている、ポリペプチド、ポリヌクレオチド、ベクター、細胞、または組成物。

**【請求項 21】**

前記動物がヒトである、請求項 20 に記載のポリペプチド、ポリヌクレオチド、ベクター、細胞、または組成物。